



平成28年府中市議会第1回定例会終了

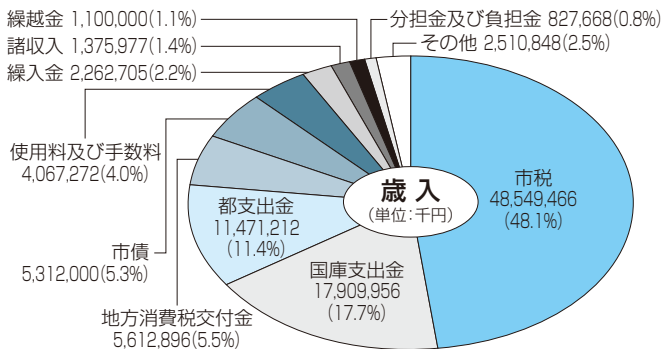
2月22日(月)～3月17日(木)の25日間の日程で平成28年府中市議会第1回定例会(3月議会)が開催されました。平成27年度の補正予算、平成28年度一般会計予算等が審議されました。また、一般質問は21人32件が発言されました。

平成28年度一般会計予算

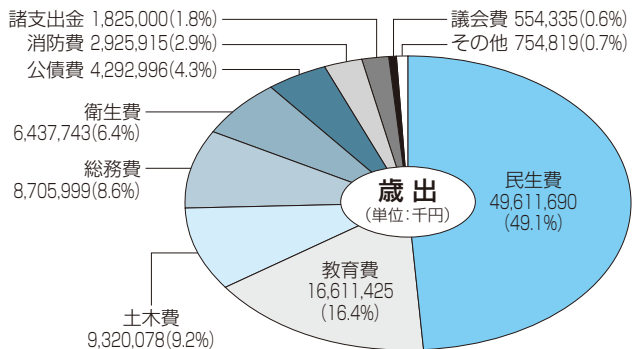
平成28年度予算特別委員会は、一般会計の歳入歳出について審議され、歳入では15人が、歳出では延べ55人が質疑をし、5会派の代表者が総括質問をしました。

最終的には、3月17日(木)の本会議にて、賛成討論、反対討論がされ、起立多数で可決されました。

歳入 / 1,010億円



歳出 / 1,010億円



清水 勝の予算特別委員会での質問

【歳入】国庫支出金の土木費国庫補助金に対して、特定緊急輸送道路沿道建築物耐震改修費補助金の算出の内容と事業内容、また、防災・安全交付金に対して、橋りょう点検調査費補助金内容と事業内容について質問・意見しました。

【歳出】総務費の総務管理費・交通安全対策費に対して、交通安全施設管理費の管理委託料の自転車ナビマークの施工事業内容、教育費の教育指導費・教科等研究事業費に対して、オリンピック・パラリンピック指定校事業費の目的ならびに事業内容について質問・意見しました。

【一般会計予算の特徴】

歳入では、固定資産税の増などにより市税が増となっているほか、投資的事業の実施に伴い、基金繰入金や市債が増となっている。また、競走事業の売り上げの増加に起因する競走事業会計からの繰入金により諸収入も増となっている。

歳出では、特定緊急輸送道路沿道建築物耐震改修費補助金や小中学校の体育館・武道場の非構造部材の耐震化の完了に伴う耐震補強整備事業費の減などの減額要因があるものの保育所への給付費や生活保護に係る扶助費の増、給食センターの新築に伴う投資的経費の増などにより、予算総額は1,010億円となり前年度比較81億5,000万円、8.8%の増となっている。

平成28年度当初予算編成の特徴

市民のニーズを捉えながら着実に市政を発展させるべく、目指す都市像である『みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち』の実現に向けて、市民協働のもと、様々な施策を展開していく必要がある。

公共施設・インフラマネジメントの推進や交通インフラ・道路基盤の充実、健康長寿社会の実現と夢と希望にあふれる次世代の育成などの市民生活の「安定」と「希望」に関する施策、自然環境との調和を図りつつ、にぎわいの創出による地域経済の活性化を目指し、府中の魅力をより一層高めるための事業の「変化」と「創造」に関する施策、福祉や防災、子育て支援など地域におけるつながりや支え合う仕組みを構築するための未来へつなげる「連携」と「協働」に関する施策の充実に努めている。(平成28年度予算のあらましより)

平成27年度一般会計補正予算

清水 勝は都補助金・民生費都補助金の保育士等キャリアアップ補助金の内容と事業内容について質問・意見しました。

【補正予算の特徴】

歳入では、個人・法人市民税や地方消費税交付金等の税連動交付金が大幅な増額、各種事業の決算見込額に合わせ、国庫・都支出金や市債などの増減を行い、国の補正予算の活用に伴い、府中駅南口地区市街地再開発事業では基金の繰入額を増額している。

歳出では、職員給与費や扶助費の過不足、委託料の契約差金などを実績に合わせ整理、今後の公共施設の老朽化対策や庁舎建替に備え、公共施設整備基金、庁舎建設基金へ積立を行っている。国の補正予算関連では、情報セキュリティ強化対策事業や地方創生加速化交付金対象事業として、ラグビーのまち府中推進事業、観光振興イベント広域連携事業などを追加、総合的な緊急防災事業として府中駅南口地区市街地開発事業を増額している。なお、事業実施は平成28年度となることから、その全てが翌年度繰り越しとなる。

第1回定例会

常任委員会・特別委員会、全体では議案35件、陳情11件、報告2件が審議されました。

建設環境委員会

付議事件9件の審議がされ、議案8件が全件可決、陳情1件が不採択となった。また、協議事項・報告1件が了承された。

市庁舎建設特別委員会

新市庁舎建設の12月の委員会以降の状況について報告され、審議した。

地域活動

1. 東芝府中事業所の建築確認申請について建築指導課との調整を行った。
2. 北府中駅から府中インテリジェントパークへの市道において、たばこの吸殻等のゴミが散見されたため、環境政策課に連絡し、ポイ捨て禁止看板を6箇所設置した。



府中市内の歩道橋、鉄道路線(JR線)アンダーパスの老朽化対策について

Q 府中市における歩道橋、鉄道路線のアンダーパスなど(例えば、サントリ武蔵野工場から府中街道に抜ける道路など)インフラについては、多くの箇所の経年劣化が気になりとなっている。

このことは、第6次府中市総合計画の中でのインフラ整備状況で、「多くのインフラが同時期に更新時期にきているため、今後の劣化は急速に進行していくことが想定される」と記載があるように大きな課題の一つであることはご承知のことだと思う。

歩道橋、人道橋の老朽化対策については、昨年3月の定例会で同会派の村崎議員も指摘されているが、昨年の夏に北府中駅東側の府中街道の歩道橋の手摺りが落下している案件があり、管理課の方から東京都の北多摩南部建設事務所に連絡していただき、修繕していただいたことがありました。迅速な対応に感謝しつつも、市内における歩道橋、そしてアンダーパスの老朽化対策についてどのような対応をされているのか、あらためて確認したく質問させていただく。



- 1) 府中市内の歩道橋の数量、設置されてからの経過年数は？(国道、都道、市道別)
- 2) 府中市内のJR線アンダーパスの箇所、設置されてからの経過年数は？
- 3) 歩道橋の補修、管理はどのようにしていますか？その間隔は？
- 4) JR線アンダーパスの補修、管理はどのようにしていますか？その間隔は？
- 5) 歩道橋の安全管理について、国、都との情報共有、連携はどのようにされていますか？
- 6) JR線アンダーパスの安全管理についてJRとの情報共有、連携はどのようにされていますか？

A 【担当部長答弁】

1) 府中市内の歩道橋は、全部で32橋あって管理者別では、国が9橋、東京都が8橋、府中市が15橋となっています。

また、経過年数については、その多くが昭和40年代に設置され、おおよそ40年から50年ほど経過している状況です。

2) 府中市内のJR線アンダーパスは、全部で10か所あって、管理者別では、東京都が2か所、府中市が8か所で、国については、管理しているものはありません。

また、経過年数については、その多くが、昭和40年代後半に設置され、おおよそ40年ほど経過している状況です。

3) 国、東京都、府中市ともに、市民の皆様からの通報やパトロールなどにより、管理し、発見された不具合については、状況に応じ、補修を行っています。

また、道路法が平成25年に改正されたことに伴い、歩道橋などは5年に1回の点検を行うことが義務付けられましたので、各道路管理者により、随時、点検を進めているところです。

4) JR線アンダーパスの管理については、東日本旅客鉄道株式会社と道路管理者である東京都や本市において、管理区分に基づき管理を行っています。また、各々の管理につま

しては、東日本旅客鉄道株式会社では、管理する橋などについて、市民の皆様からの通報などにより確認を行い、必要に応じた補修などを行うほか、2年に1回の点検を行い管理しています。

次に、東京都や本市におきましては、市民の皆様からの通報やパトロールなどにより、発見された不具合につきまして、補修を行っています。また、東京都におきましては、5年に1回、点検を行うとのことです。

5) 本市が、国や東京都が管理する歩道橋の不具合を発見した際には、不具合のある施設の管理者に連絡し、責任をもって対応して頂いています。

また、地方公共団体の取組みに対する体制支援として、都道府県ごとに国が設置する東京都道路メンテナンス会議を通じ、道路施設の点検や計画などの情報共有を図っています。

6) 本市が、東日本旅客鉄道株式会社や東京都が管理するアンダーパスの不具合を発見した際には、当該施設の管理者に連絡し、責任をもって対応して頂いています。

また、発見された不具合の補修にあたり、影響が考えられる際には、個別に各管理者と協議等を行うこととしています。

Q 【再質問】インフラ整備の推進により、市民の安心・安全を守ることは、市としても最優先すべきものと認識されていると思いますが、そのためには、日頃からの設備メンテナンスの強化をすべきではないかと感じている。

- 1) 歩道橋について、過去に市民からの通報やパトロールなどで発見した不具合はどのようなものがありましたか？その補修整備内容は。

- 2) 道路法に基づき5年に1回の点検が義務付けられましたが、歩道橋の現在の点検進捗状況と不具合内容、その整備状況について。
- 3) JRアンダーパスについても点検状況と不具合内容、その整備状況について。
- 4) 東京都道路メンテナンス会議で、どのような内容が話し合わせ、実行されているのか。

A【担当部長答弁】

1)本市における歩道橋の不具合には、落書きや不法投棄、階段の踏み面や蹴上げなどの損傷があります。

これら不具合の対応については、落書きや不法投棄では、その都度、清掃等を行い、階段の損傷等につきましては、状況を確認し、施設の安全性や通行に影響がある場合には、踏み板の取替えや鋼材の張り替えなど、必要に応じた補修を行っています。なお、国や東京都におきましても、本市と同様である、と伺っています。

2)国では、平成26年度から平成30年度までに点検を実施する予定で、現在のところ緊急を要するような損傷等は見当たりませんが、今後、必要な補修は実施する予定とのことです。

次に、東京都では、昭和56年度から定期的な点検を実施しており、これまでの点検では、塗装の剥がれや鋼材の腐食等の損傷が発見されたが、構造的に影響のある損傷等は無く、点検結果に基づいた補修等を計画的に行っている、とのことです。

最後に、本市では、平成27年度、平成28年度の2か年で歩道橋を含めた橋りょうの点検を行うこととし、歩道橋については、本年度9橋、来年度5橋の点検を行う予定です。

現在、行っている点検のなかでは、塗装の剥がれや鋼材の軽微な腐食などが発見されているが、橋りょうの構造に影響を与える損傷などは確認されていませんので、今のところ緊急的な補修は行っていません。

しかしながら、点検により発見された損傷などは、橋りよ

う全体の点検結果に基づき、計画的に補修を行い、市民の皆様様に安全・安心で快適な通行を確保してまいりたいと考えています。

3)本市が管理しているアンダーパス等の施設については、パトロールなどにより、路面の損傷や壁面の落書きなどが発見されていますが、アンダーパスの構造に影響する不具合は発見されていませんので、その都度、補修などを適切に行っています。

次に、東京都が管理しているアンダーパス等の施設については、全施設を対象に5年に一度の定期点検を実施しており、損傷が発見された場合には計画的に補修を行うほか、パトロールなどにより、路面の損傷や施設の汚損が発見された場合には、補修などを適切に行っている、とのことです。

なお、東日本旅客鉄道株式会社が管理する橋などについては、2年に一度の定期点検を実施しており、現在のところ、不具合は発見されていない、とのことです。

4)東京都道路メンテナンス会議は、道路管理者や鉄道事業者などとの連携により検討体制を整え、課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な老朽化対策の推進を図ることを目的とした会議です。

この会議では、各自治体の点検状況の確認や、点検に係る課題などについて話し合いが行われています。また、自治体への技術支援として研修を行うほか、跨線橋の点検計画に係る鉄道事業者との広域的な調整なども行っていただいています。

意見

最後に府中市としてもJRなど鉄道事業者との提携やインフラ設備の安全管理に関し、責任の明確化や今後の駅周辺や路線開発時の連携などがスムーズに出来る環境整備をさらに進めていただくようお願いいたします。

安全対策に終わりはありません。安全・安心で快適なまちづくりに一層取り組んでいただくことをお願いします。
※次回、6月定例議会の一般質問は6月6日(月)10時から発言予定です。



府中市議会議員 清水 勝 プロフィール

1964年 山梨県北巨摩郡(現北社市)生まれ
1983年 山梨県立甲府工業高校卒
(株)東芝府中工場入社
コンピュータ製造・試験・工程管理

1994年～2015年

◆東芝グループ連合・東芝労働組合役員
2015年4月 府中市議会議員初当選(①2959票)

◆現在:東芝グループ連合・東芝労働組合顧問
◆市議会:建設環境委員会副委員長/市庁舎建設特別委員会委員/議会報編集委員会委員/府中市交通安全対策審議会委員/三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会(道路)



■清水勝HP



■Facebook

■清水勝ホームページ
<http://shimizu-masaru-fuchu.jp>
■Facebook
<https://www.facebook.com/shimizu.masaru.fuchu>

お気軽に
ご相談下さい

【連絡先】〒183-8511 府中市東芝町1番地 東芝労働組合府中支部内
TEL.042-333-6890 FAX.042-340-8177 E-mail:shimizu.masaru.fuchu@gmail.com